

保存版

この紙面は広報から抜き出して保存・活用してください。

想定最大規模降雨による内水浸水想定区域図

想定最大規模降雨[1時間最大雨量153mm]で発生する内水氾濫をシミュレーションし、浸水が想定される区域を示したものです。水害から身を守るため、自宅や職場などの浸水リスクを確認してください。8・9面でマイ・タイムラインを作成できます。

問 治水課・内線473

Q1 図面はどこで見ることができますか？

A 市ホームページで見ることができます。浸水継続時間マップも公表しています。



▲市HP

Q2 内水氾濫とは何ですか？

A 水路で排水し切れない量の雨が降り、地上にあふれた雨水により、冠水・浸水が発生することです。



▲令和5年9月の内水氾濫

Q3 図面に着色がない区域は浸水しませんか？

A 浸水想定区域や浸水深は雨の降り方により変化し、地図に着色がない区域でも浸水することがあります。なお、河川の氾濫による浸水は含んでいません。

Q4 あびこハザードマップに載っていますか？

A 令和7年2月発行の最新版には載っていません。次回更新時に掲載します。



Q5 もっと詳しい図面はありますか？

A 市ホームページからダウンロードすると、拡大して見ることができます。今後、国土交通省作成の「重ねるハザードマップ」にも掲載します。市LINE公式アカウントからもアクセスできます。

Q6 浸水想定区域の土地売買は制限されますか？

A 雨水出水浸水想定区域の指定により土地売買が制限されることはありません。



Q7 浸水深の目安はありますか？

A 下図のとおりです。

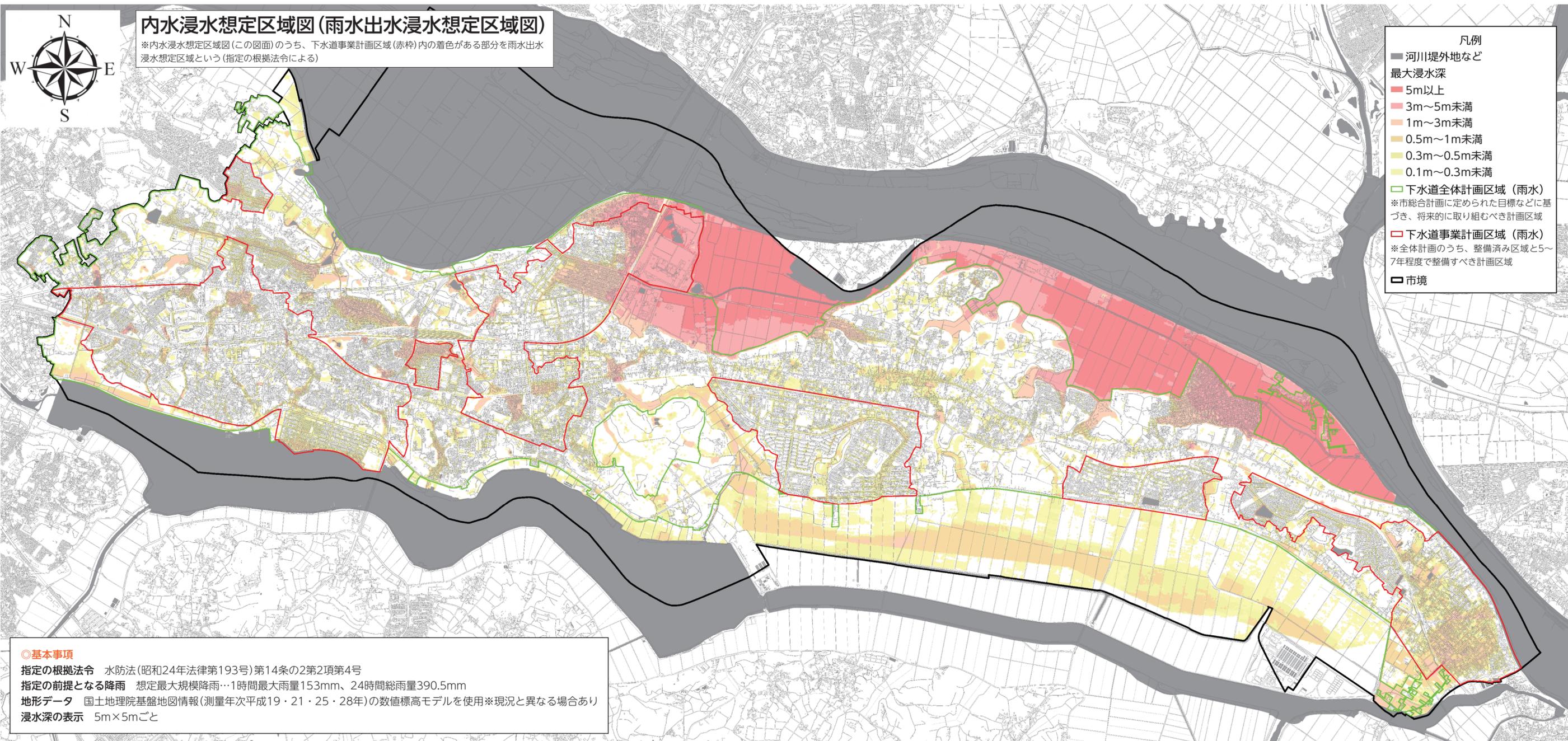


Q8 市は浸水被害を軽減するための対策をしますか？

A 想定最大規模降雨に対応する整備は予定していませんが、1時間雨量50mmに対応する排水区の整備を進めています。

Q9 図面の配色をもっと見やすい色にできますか？

A 深さを表す色分けは国土交通省により定められており、色覚障害のある方へ配慮された配色になっています。



◎基本事項
指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項第4号
指定の前提となる降雨 想定最大規模降雨…1時間最大雨量153mm、24時間総雨量390.5mm
地形データ 国土地理院基盤地図情報(測量年次平成19・21・25・28年)の数値標高モデルを使用※現況と異なる場合あり
浸水深の表示 5m×5mごと